

## 特集5 公共料金について

今回の公共料金改定に関し、議会では市民負担の増大が一度に重ならないよう求めてきました。その結果、水道料金については、24年度までに段階的に引き上げをしていくことになりました。

### ▼国民健康保険税の値上げについて

国民健康保険税については、平均21%、加入者1人あたり1万6400円値上げする条例改正を、議会としても会計の健全性を確保するためには必要な値上げであると判断し、賛成多数で可決しました。

審査の過程で、「急激な会計の悪化が後期高齢者医療制度導入の制度変更によって生じた問題なら国に財政負担を求めべき。」「国庫負担が50%から25%にまで削減されており、これを元に戻すように国に求めるべき。」などの意見が出されました。これに対し市は「市長会として要望するよう取り組みたい。」としています。

その他、「国保は、社会のセーフティネットの機能を果たしており、一般会計から繰り入れるべき。」などの意見がありました。

### ▼下水道料金の値上げについて

公共下水道と農業集落排水の使用料を平均12・5%値上げする条例改正を、議会としては会計の健全化のために必要であると判断し賛成多数で可決しましたが、市民負担を最小限にするために、値上げを固定することなく、引き続き検討するよう求めました。

委員会での市の説明では、値上げによつ

て得られる交付税算定措置が2億円から3000万円程度になるなど2転3転したことがあり、議会として市に「適正な説明をするように。」と厳しく指摘しました。

また「類似自治体と比べても、市の負担は多額ではない。」「他の汚水処理との比較が不十分である。」などの意見がありました。

### ▼水道料金の値上げについて

水道料金については、22年度は据え置き、23年度は平均6・3%、24年度以降は平均12・6%値上げする条例改正を賛成多数で可決しました。

議会としてはリゾート事業者に負担を求めることなど、市の努力を求めながらも、水道事業の健全化のために必要な値上げであると判断しました。

一方、「リゾート事業者に新たな負担を求めるというが、市は新たな負担の考え方も金額も示さず努力がみられない。」「簡易水道は人件費等の経費を勝山市が負担しているのに、上水道は独立採算というのは整合性がない。」などの意見がありました。



## 特集6 恐竜博物館及びゆめおーれ勝山について

### ▼恐竜博物館開館10周年

開館10周年に向けて、勝山市も「ゆめおーれ勝山」の開館1周年と連動したイベントを行います。

福井県は、恐竜博物館での夏の特別展をより一層充実させると共に、館内の展示強化を行います。さらに勝山市も、マイカーを利用した観光客の市内での滞在・周遊を推進するために法恩寺山有料道路通行料金の割り引きを継続して、10周年を盛り上げる予定です。

また、北谷の発掘現場付近の整備を進めると共に、館内外を問わず、様々な記念行事を行います。

これらに対して議会として、来訪者の休憩や食事場所の確保を図るなど、受入体制の向上を求めました。予算についても市の負担軽減への努力を求めると共に、費用対効果の検証を求めました。

### ▼ゆめおーれ勝山開館1周年

開館1周年行事として、市内観光施設の共通観覧券の発行や、「ゆめおーれ広場」でのスクリーン設置と共に、近辺でのイベントを充実させまちなか誘客の拡大を図ります。

さらに、「まちの駅ネットワーク勝山」の運営を支援し、観光客の誘致強化を図ると共に、東京「南青山291」で開催予定のかつやまフェアに対して、開催場所を再検討すべきとの意見がありました。